



# 脇町ロータリークラブ

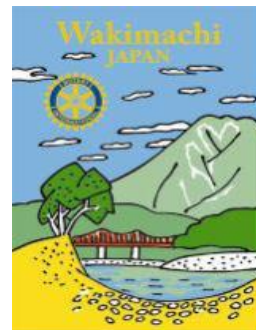
第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2021年 1月 7日 木曜日

第25回例会 No.2739

会員総数: 39名 出席率: 71.8%



## ◎会長挨拶

白川会長 皆様、新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

年末年始は如何お過ごしになりましたか？いつもと同じだったと言う方もいらっしゃるかもしれませんが、全く違ったお正月を過ごしたと言う方もいらっしゃると思います。

私は、年末寒波のせいで折角掃除した境内に枝や葉っぱが散乱しました。再び掃除する時間も気力も欠乏して、言い訳程度に済ませて雪が降って隠してくれる事を期待しましたが、期待通りの雪は降らず四苦八苦して元旦早々よりブロアーを手にする事となりました。この「四苦八苦」は私達も思うようにならなければよく使う言葉ですが、それはお釈迦様がこの世は苦しみから始まるとお悟りになられた言葉です。

年の始まりは、浮かれはじめて「苦」などという言葉は考えたくない、あってほしくない言葉ですが、お釈迦様はそれを戒めておられます。改めて「四苦八苦」とは、先ず「四苦」とは生、老、病、死の苦しみということです。皆様もそれなりに実感してあてはまる苦しみを味わった事もあるかと思いますが、生まれる事が先ず苦しみだと説いています。そして「八苦」とは求めても求めても手に入らない「求不得苦」今皆様が100万円欲しいと思っています。それを手にした瞬間にもっと欲しくなります。人間の欲望には限りがない事を表しています。そして「怨憎会苦」「愛別離苦」「五陰盛苦」と人の世の苦しみを説きます。しかし、だからこそ少しの幸せ、一瞬の喜び、今ある当たり前の喜びをかみしめることが大切なのではないかと思います。

本年も皆様が素晴らしい日々でありますことを念じつつ新年の挨拶とさせていただきます。

## ◎幹事報告

- |           |   |
|-----------|---|
| 古田幹事 到着週報 | ●洲本RC、阿波池田RC、各RCより                                |
| 到着書類      | ●ロータリーの友 1月号    ガバナー月信 1月号    四電グループよりライト&ライフ 1月号 |
|           | ●財団NEWS 1月号    概況 別冊                              |
|           | ●第37回全国ロータリークラブ野球大会の案内状                           |
|           | ●ガバナー事務所より年賀の挨拶状                                  |
|           | ●岡島滋憲ガバナー補佐より年賀の挨拶状                               |
| 連絡事項      | ●例会終了後 理事会を開催いたします                                |

## ◎卓話

佐藤順二会員 皆様、あけましておめでとうございます。本年度第1回目の卓話をさせていただくということで大変恐縮致しております。私も今年で70歳になります。運動不足で足腰が弱くなったり、耳が聞こえにくくなったり、頭髪が薄くなったり、目が見えにくくなっています。また本や新聞を読んでも、なかなか頭に入ってきません。しかし正月に渥美清の「寅さんシリーズ」を見ていますと、昔より山田洋次の世界に感動して、寅さんの言葉にほろっときます。従来に増して感じる力が増え、劣化ばかりではなく感受性は進化しているんだなあと思ったりもします。

今日は偉人のお話をします。皆さんにとって日本の偉人とはだれでしょうか。野口英世、西郷隆盛、福沢諭吉等いろんな人が思い浮かびます。それでは我々の美馬市美馬郡の偉人といえば誰でしょうか。穴吹舞中島出身アインシュタインの盲腸を診断した三宅速、穴吹町三島出身で樺太探検の岡本監輔、脇町出身の初代岐阜高山県知事の竹澤寛三郎、邪馬台国卑弥呼の墓を箸墓古墳であると提唱した考古学者の笠井新也などがいますがどうでしょうか。

私は吉田廣一だと思います。吉田廣一と言うよりも「先頭はん」と言った方が良く知られています。何事も一番でなければ気が済まない性格、身長も184cmで身長順に整列するのも一番前でもいつも先頭に立っていたところから「先頭はん」と呼ばれていました。圧倒的な身体能力はいくつもの逸話を残しています。旧穴吹橋欄干に逆立ちをして吉野川に飛び込んだとか、牛乳は腐ったのが一番うまいとか、ガラスコップをがりがり食べたetc.

吉田廣一は脇町に大正7年に生まれています。田中角栄や中曽根康弘と同じ世代です。しかし昭和42年に48歳で不慮の事故により亡くなっています。昭和12年に現在の日本体育大学を卒業後、教員として半田小学校に赴任。昭和14年に善通寺第55師団入隊。昭和17年からニューギニア戦線やビルマ戦線を転戦しています。南方戦線に出た兵士からは「ジャワは天国、ビルマは地獄、生きて帰れぬニューギニア」と言われたところ。戦友の残した手記には吉田が飢えとマラリアで瀕死の仲間を背負って30km歩き仲間を救ったそうです。昭和21年に戦地から帰国。母親は戦死広報が届いていたので、本人の葬儀を済ませていましたが、廣一が無事帰還したことに非常に驚いたそうです。昭和24年からは体育教師として穴吹高校や脇町高校で勤務しました。生徒の指導の傍ら自らも柔道、レスリング、重量挙げの選手として活躍しました。柔道は第一回柔道東西対抗試合に西軍選手で出場して5段クラスを3人抜きして最優秀選手賞を受けました。講道館柔道6段だそうです。昭和25年には重量挙げ日本選手権ライトヘビー級で優勝。その後6連覇。レスリングでも活躍して柔道、重量挙げ、レスリングの日本選手権保持者になりました。昭和29年のフィリピン・マニラで開催された第二回アジア大会では日本選手団の旗手を務めています。昭和30年、体育振興に尽くした功績が認められ、日本スポーツ賞が贈られています。この年に長崎平和公園記念像が落成しました。この記念像のモデルになったのが廣一です。昭和25年ごろから原案が出来、彫刻家の北村西望のアトリエで廣一モデルのデッサンが行われたようです。

私の中では、郷里の偉人は間違いなく吉田廣一だと思います。最後に旧美馬郡の銅像を少し探ってみました。藤田武雄元県会議員、岩倉にあります。井口誠一、脇町高校にあり井口賞育英功労者です。武市泰信元知事、貞光にあります。真鍋勝元衆議院議員、貞光にあります。近藤ナヲ、半田女子高創設者。逢坂左馬之助、旧半田町長、医師、歌人、与謝野鉄幹の高弟です。大久保亀吉旧半田町長。色々な偉人の銅像があります。脇町RCのメンバーの中にも将来銅像になるような方がいるんじゃないかと思います。期待しております。

ひとりごと  
順二先輩はやっぱり話し上手。話すテンポも間も素晴らしいし聞きやすい。歴史に関しては本当に良く勉強されてます。「先頭はんの話」とても興味深かったです。ちなみに、プチ情報、先頭はんの長男は現脇町小学校長、吉田有礼さんと、鉄野会員や和代ちゃんの同級生です。

## ◎ニコニコボックス

谷口会員、佐藤順二会員、古田会員、南善幸会員、小野会員、岡本会員、信田会員、川原会員

次回例会	2021年 1月 14日(木) 12:30より 四季料理 森友 WEB会議 併用開催
卓話	上柿会員

☆次の会員は例会欠席でした。メイクアップして下さい。

木下会員、郷司会員、高田会員、友成会員、橋本会員、秦会員、浜口会員、藤村会員  
南由起子会員、森会員、吉野会員

☆次回例会の出欠を鉄野出席委員長まで連絡してください。